

---

---

平成24年  
福岡県経済データファイル

---

---

福岡県商工部



# — CONTENTS —

## 第1章 福岡県の経済動向

1. 概況	2
＜企業部門＞	
2. 生産	4
3. 貿易	5
4. 設備投資	8
5. 企業倒産	9
6. 開業率、廃業率	10
7. 外資系企業の進出	11
＜家計部門＞	
8. 個人消費	11
9. 雇用	12
＜その他関係指標＞	
10. 住宅建設	13
11. 公共投資	13
12. 物価	14
13. 県民所得	14

## 第2章 福岡県の商工業

1. 製造業	15
（1）主要産業	15
（2）工場立地	20
（3）研究機関・教育	21
（4）地場産業	23
2. 商業	25
（1）卸売業	25
（2）小売業	26
3. サービス業	28
4. 観光	29

## 付属資料

データ① 事業所数及び従業者数の推移（産業大分類別）（福岡県・全国）	31
データ② 工業における事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移（福岡県・全国）	32
データ③ 工業における事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移（産業中分類別）（福岡県・全国）	33
データ④ 商業における事業所数・従業者数・年間商品販売額の推移（卸売・小売別）（福岡県・全国）	35
データ⑤ 都道府県別企業数	36
データ⑥ 都道府県別常用雇用者・従業者数	37
データ⑦ 福岡県経済の推移	38
マップ① 主要工場	40
マップ② 主要自動車関連事業所	41
マップ③ 主要半導体関連事業所	42
マップ④ 主要食料品・たばこ関連事業所	43

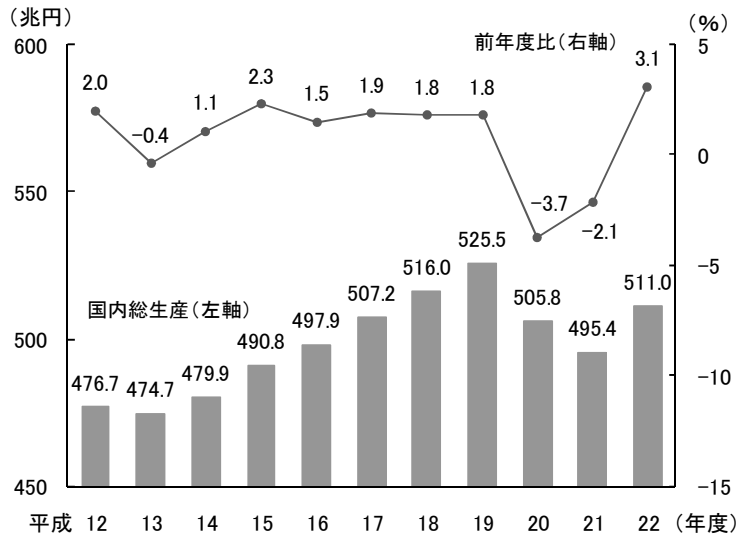
# 第1章 福岡県の経済動向

## 1. 概況

### 平成 22 年度の国内総生産は3年ぶりのプラス成長

平成 22 年度の国内総生産（GDP、実質連鎖）は 511.0 兆円、前年度比（成長率）プラス 3.1%となり、3年ぶりにプラス成長となった。

国内総生産（実質）の推移

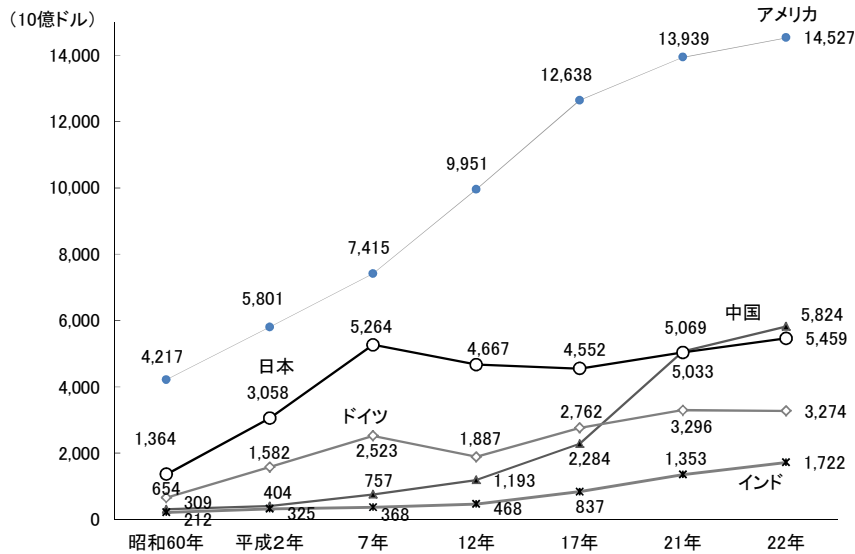


注) 連鎖方式  
資料) 内閣府「国民経済計算」

### 平成 22 年の国内総生産、日本は第3位

平成 22 年の世界各国の国内総生産（GDP、実質連鎖）は、アメリカ 14.5 兆ドル、中国 5.8 兆ドルに次ぎ、日本は第 3 位の 5.5 兆ドルとなった。

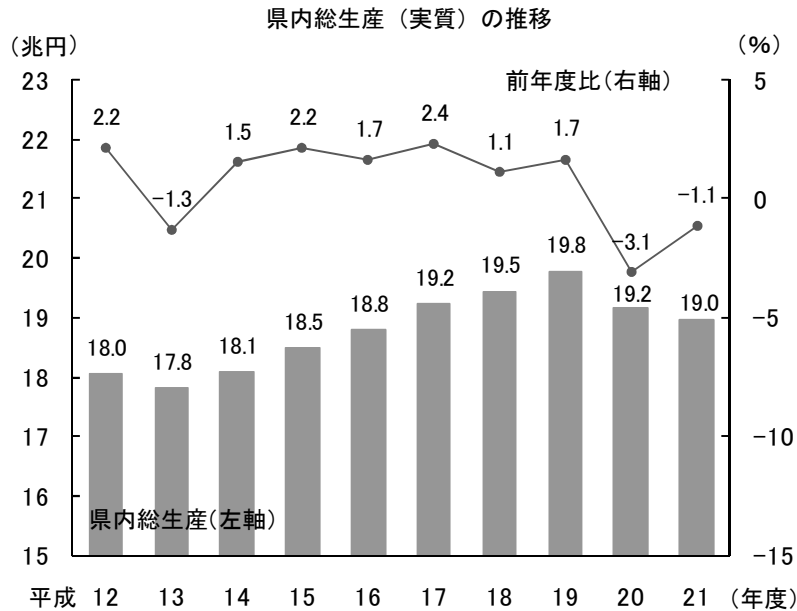
世界各国の GDP の推移



注) 連鎖方式  
資料) 内閣府

平成 21 年度の県内総生産は2年連続のマイナス成長

平成 21 年度の福岡県の実質県内総生産は 18 兆 9,622 億円、前年度比（成長率）は改善し、全国を上回ったものの、リーマンショックの影響から依然マイナス成長となった。



注) 連鎖方式  
資料) 福岡県「県民経済計算」

製造業比率が上昇

平成 21 年度県内総生産の産業別構成比は、第 1 次産業が 0.8%、第 2 次産業が 20.0%、第 3 次産業が 79.1%となっている。

経済活動別県内総生産構成比（実質・%）の推移

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
第1次産業	0.9	0.9	1.0	0.9	0.9	0.9	0.8	0.9	0.9	0.8
第2次産業	21.8	20.4	20.2	20.3	20.2	20.5	20.7	20.9	19.1	20.0
製造業	15.0	14.4	14.0	15.2	15.1	15.6	15.8	16.4	14.7	15.9
建設業	6.6	5.8	6.1	4.9	4.9	4.7	4.8	4.3	4.3	4.0
第3次産業	77.2	78.6	78.8	78.8	79.0	78.7	78.5	78.3	80.0	79.1
卸売・小売業	19.1	18.7	18.0	17.8	17.5	17.1	16.7	16.1	15.8	14.8
サービス業	22.4	22.8	23.1	23.4	23.9	23.9	24.2	24.8	26.0	26.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

注) 連鎖方式  
資料) 福岡県「県民経済計算」

## 〈企業部門〉

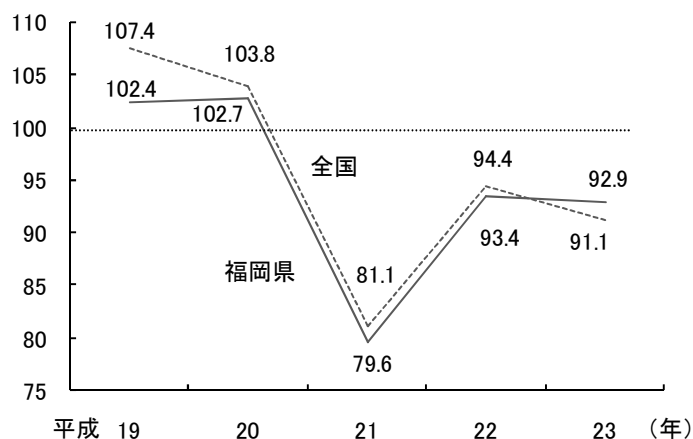
### 2. 生産

#### (1) 全体

##### 全国を上回る福岡県の鉱工業生産指数

平成 23 年の福岡県の鉱工業生産指数（平成 17 年を 100）は 92.9 と全国（91.1）を上回り、東日本大震災の影響は軽微にとどまっている。

鉱工業生産指数の推移



注) 平成 17 年を 100 とする

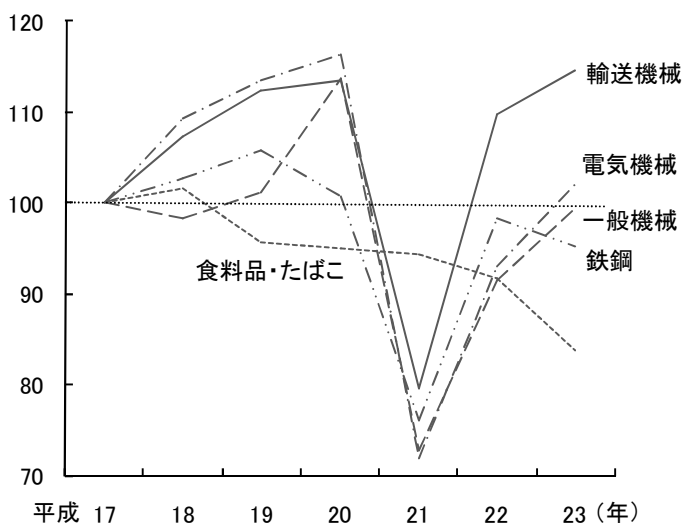
資料) 福岡県「福岡県鉱工業指数」、経済産業省「鉱工業指数」

#### (2) 主要部門

##### リーマンショック前の水準を上回る輸送機械

平成 23 年の福岡県の鉱工業生産指数（平成 17 年を 100）を業種別にみると、輸送機械（指数 114.6）はリーマンショック前の水準に回復している。

主要業種の鉱工業生産指数の推移



	19年	20年	21年	22年	23年
輸 送 機 械	112.3	113.4	79.6	109.8	114.6
鉄 鋼	105.9	100.8	76.0	98.4	95.3
食 料 品 ・ た ば こ	95.6	95.1	94.4	91.8	83.8
一 般 機 械	101.2	113.7	72.7	91.5	99.3
電 気 機 械	113.6	116.3	71.8	93.0	102.1

注) 平成 17 年を 100 とする

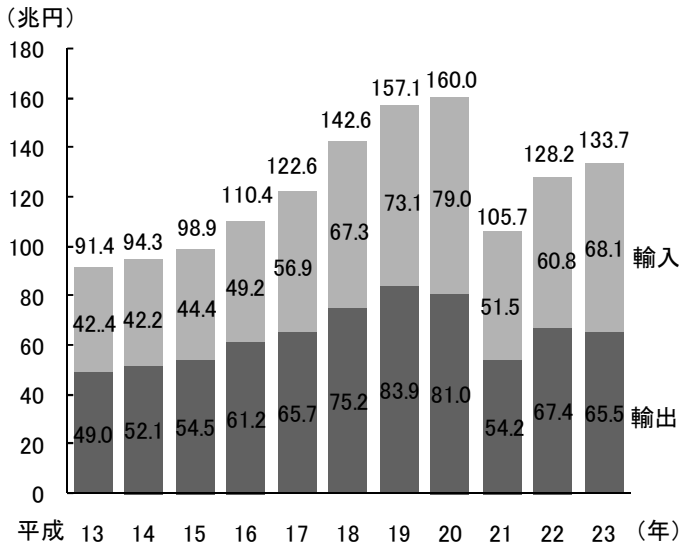
資料) 福岡県調査統計課「福岡県鉱工業指数」

### 3. 貿易

#### 2年連続で増加する貿易額

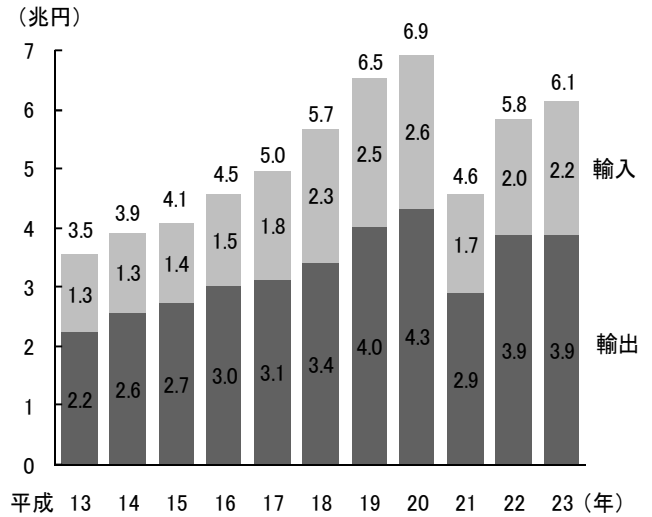
平成 23 年の福岡県の貿易額は、6.1 兆円（輸出額 3.9 兆円・輸入額 2.2 兆円）となった。輸出は横ばいであったものの輸入が増加し、2年連続で貿易額が増加した。

貿易額の推移（全国）



資料) 財務省「貿易統計」

貿易額の推移（福岡県）

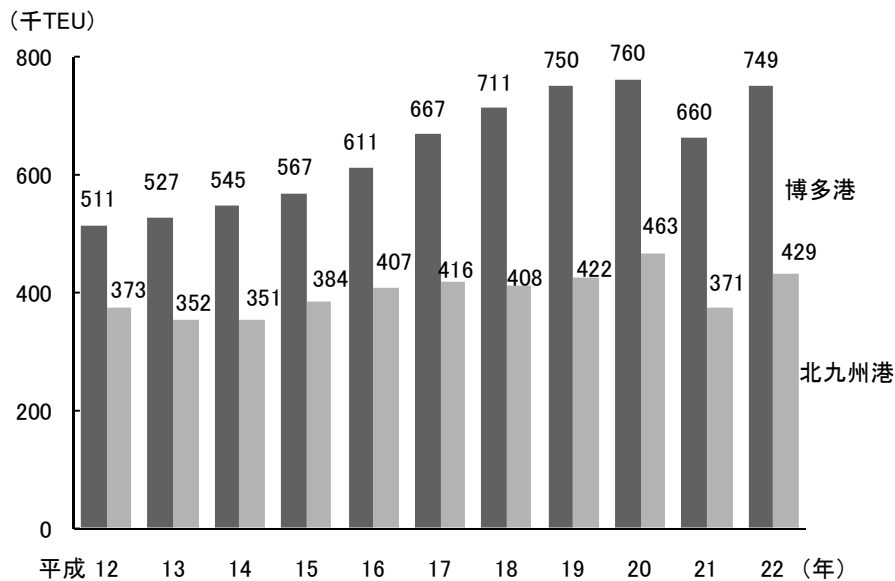


資料) 門司税関「九州経済圏各県別の貿易」

#### 増加傾向にある博多港のコンテナ取扱量

平成 22 年の博多港の国際コンテナ取扱量は、74.9 万 TEU（注）。北九州港は 42.9 万 TEU となり、世界同時不況により減少した前年から回復した。

博多港と北九州港の国際コンテナ取扱量の推移



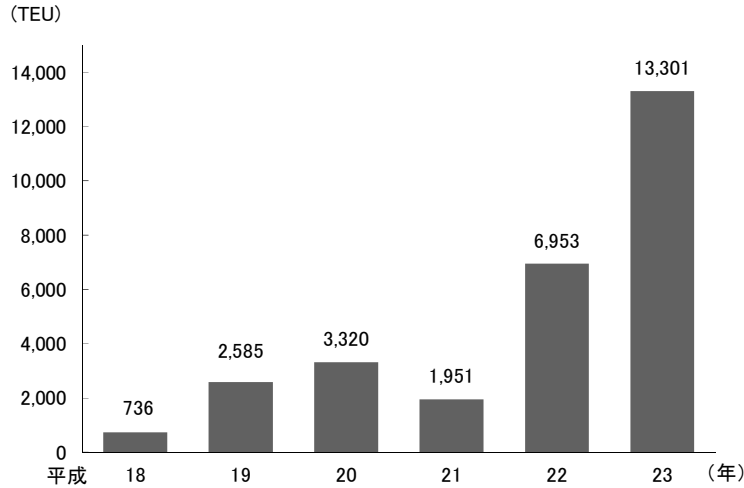
注) TEU は 20 フィートコンテナに換算した数

資料) 福岡市港湾局 北九州市港湾局

## 三池港のコンテナ取扱量は大幅に増加

平成 23 年の三池港の国際コンテナ取扱量は、1.3 万 TEU となり、前年比 91.2% 増と大幅に増加している。有明海沿岸道路が開通したことでアクセスが向上し、集荷範囲が広がった。

三池港の国際コンテナ取扱量の推移

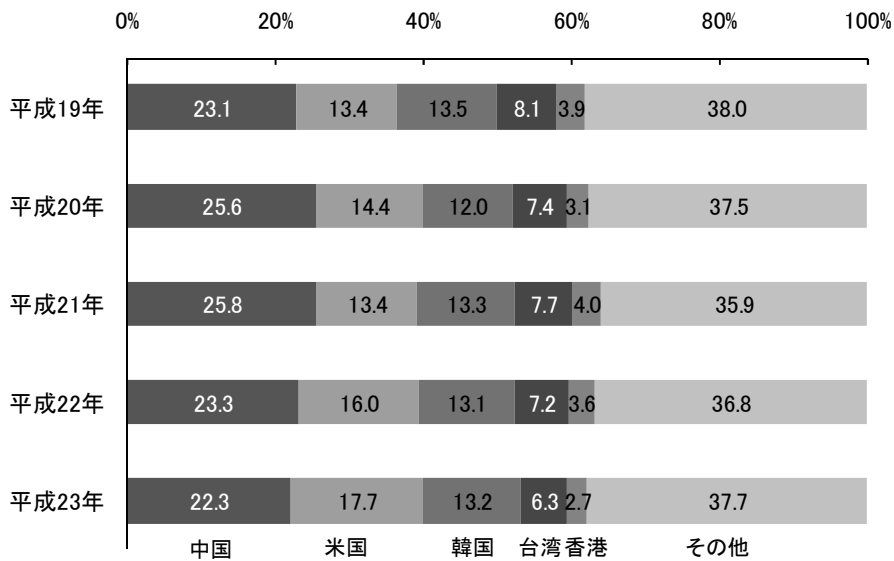


資料)福岡県港湾課

## 平成 23 年の国別輸出比率、米国向け輸出の割合が上昇

平成 23 年の福岡県の輸出額は、中国に次いで米国が多く、米国向けシェア (17.7%) は前年 (16.0) から上昇している。

輸出額の国 (地域) 別シェアの推移



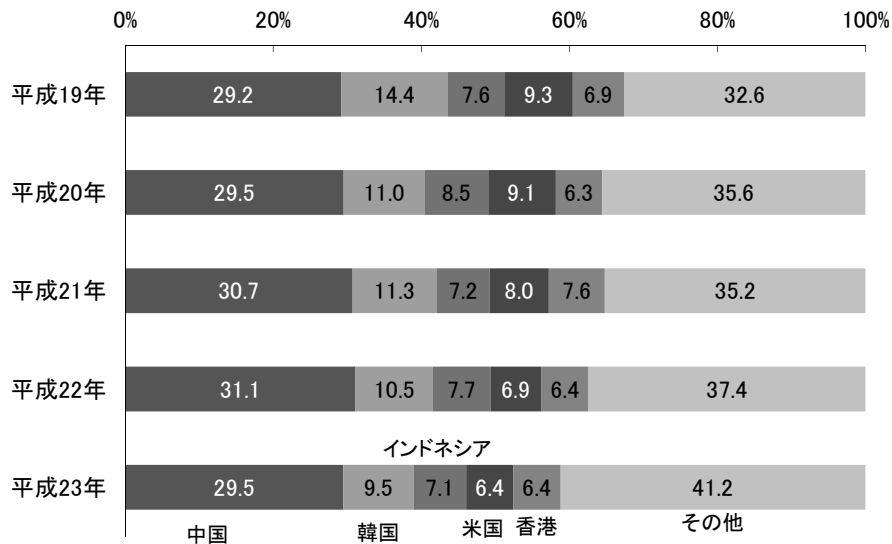
資料) 門司税関「九州経済圏各県別の貿易」



## 中国からの輸入が約3割

平成 23 年の福岡県の輸入額は、地域別にみると中国の輸入比率が 29.5%と最も高い。前年と比較すると、その他地域の輸出比率が高まっている。

輸入額の国（地域）別シェアの推移

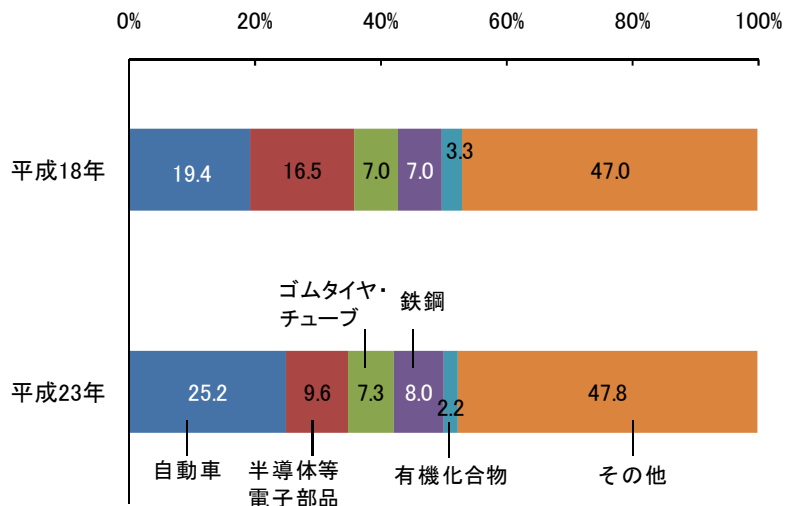


資料) 門司税関「九州経済圏各県別の貿易」

## 輸出は自動車の比率が上昇

平成 23 年の福岡県の品目別輸出額は自動車が増加し、25.2%と最も多く、続いて半導体等電子部品が多い。5年前と比較すると、自動車の比率が上昇したのに対し、半導体等電子部品の比率は低下している。

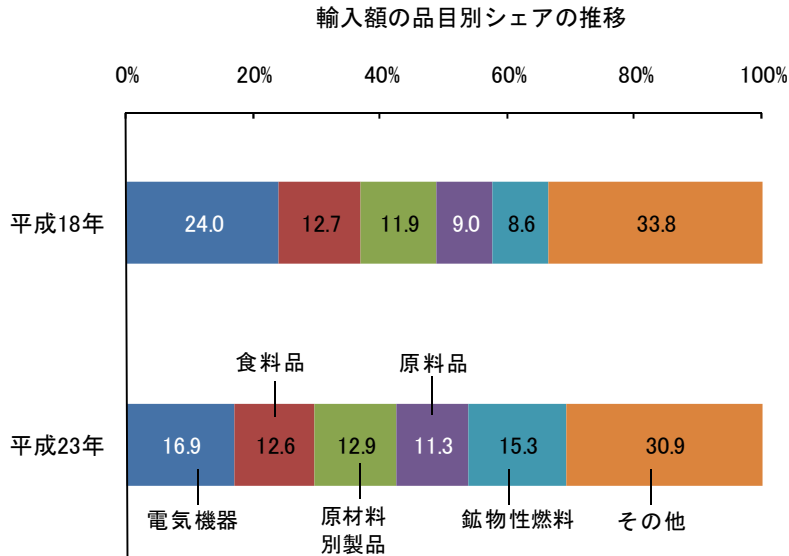
輸出額の品目別シェアの推移



資料) 門司税関「九州経済圏各県別の貿易」

## 輸入は鉱物性燃料の比率が上昇

平成 23 年の福岡県の品目別輸入額は、発電用燃料の輸入増及び価格の高騰により、鉱物性燃料の比率が大きく上昇している。

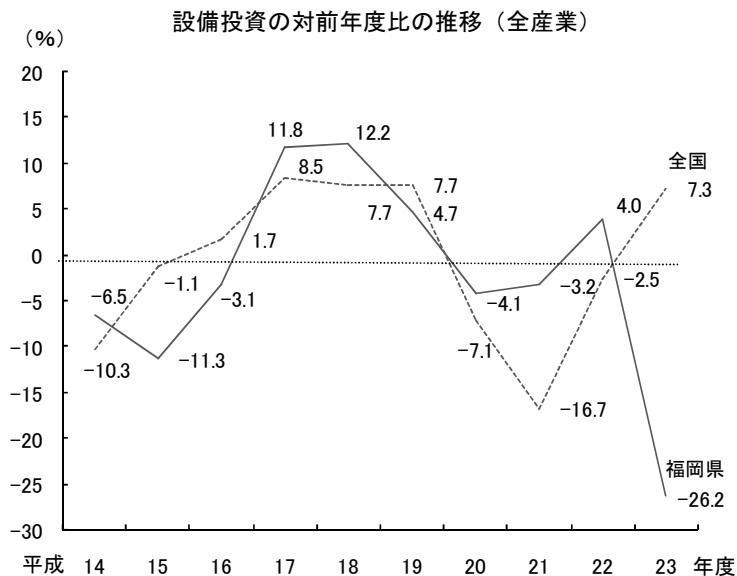


資料) 門司税関「九州経済圏各県別の貿易」

## 4. 設備投資

### 2年ぶりに減少した設備投資

平成 23 年度の福岡県の設備投資計画は、九州新幹線関連の工事が終息したこと等により、前年度比 26.2%減となった。

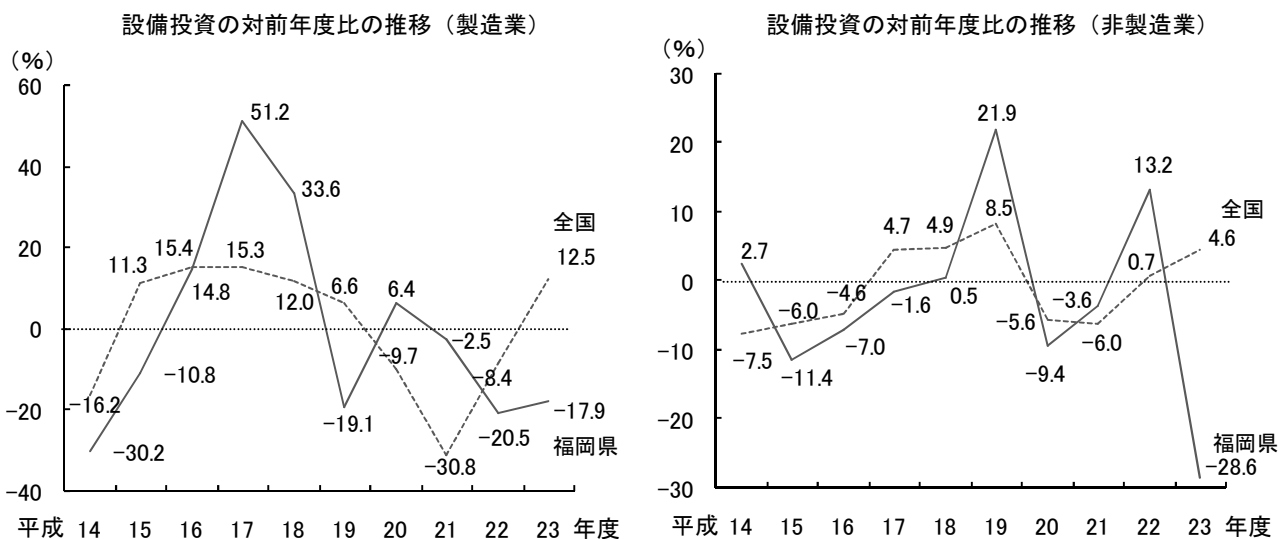


注) 平成 23 年度は計画

資料) 日本政策投資銀行「地域別設備投資計画調査」(平成 23 年 7 月)

### 製造業、非製造業とも2ケタ減となった企業設備投資

平成 23 年度の福岡県の設備投資は、製造業においては、前年度比マイナス 17.9%となり、2年連続で2ケタ減となった。また、非製造業は前年度の九州新幹線関連の設備投資の反動により 28.6%減となり、製造業、非製造業とも2ケタ減となっている。



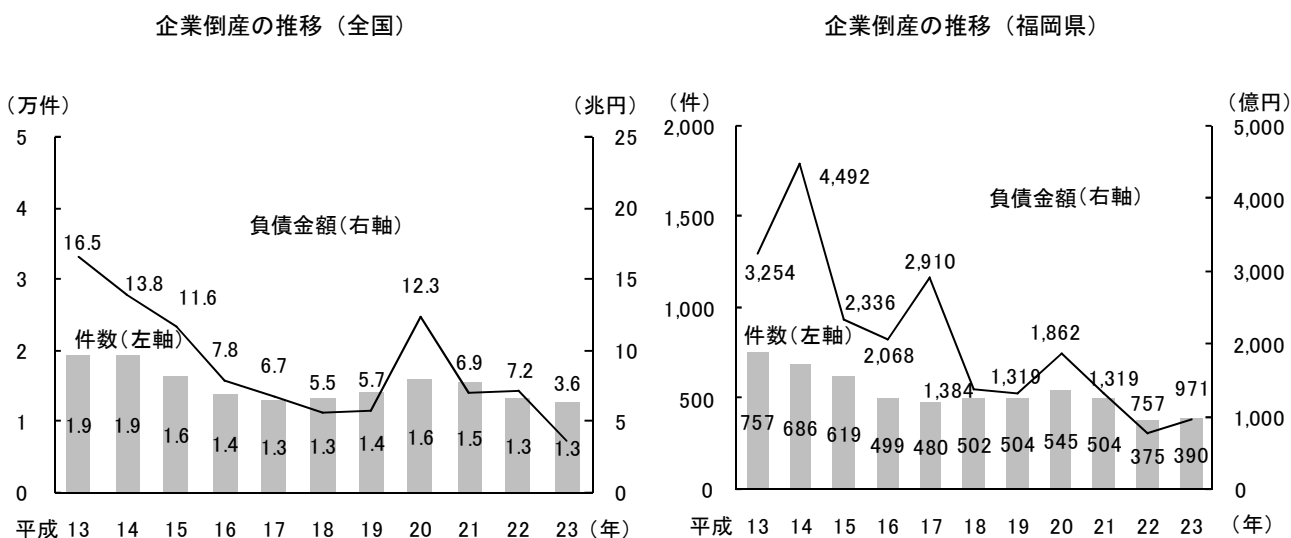
注) 平成 23 年度は計画

資料) 日本政策投資銀行「地域別設備投資計画調査」(平成 23 年 7 月)

## 5. 企業倒産

### 倒産件数、負債金額とも前年から増加したものの低水準

平成 23 年の福岡県の企業倒産は、件数 390 件、負債金額 971 億円となり、件数、負債額とも前年から増加したものの、引き続き低水準となっている。

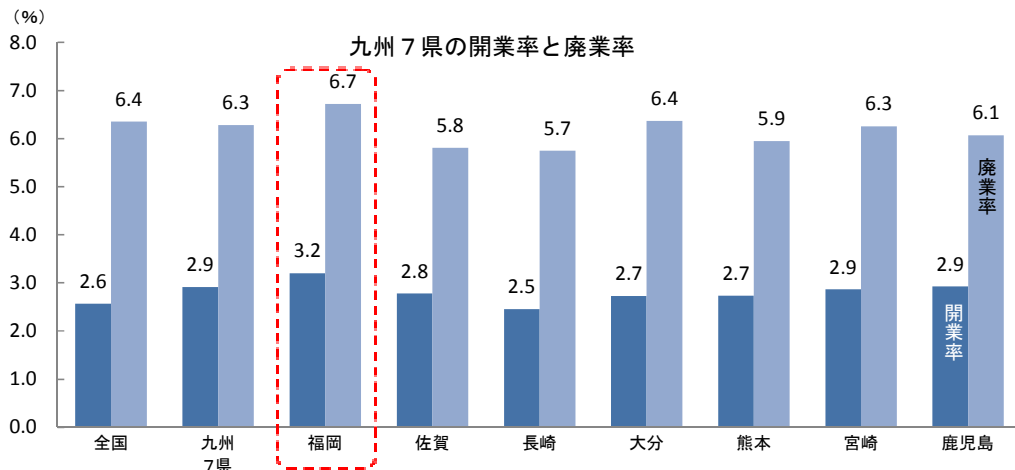


資料) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

## 6. 開業率、廃業率

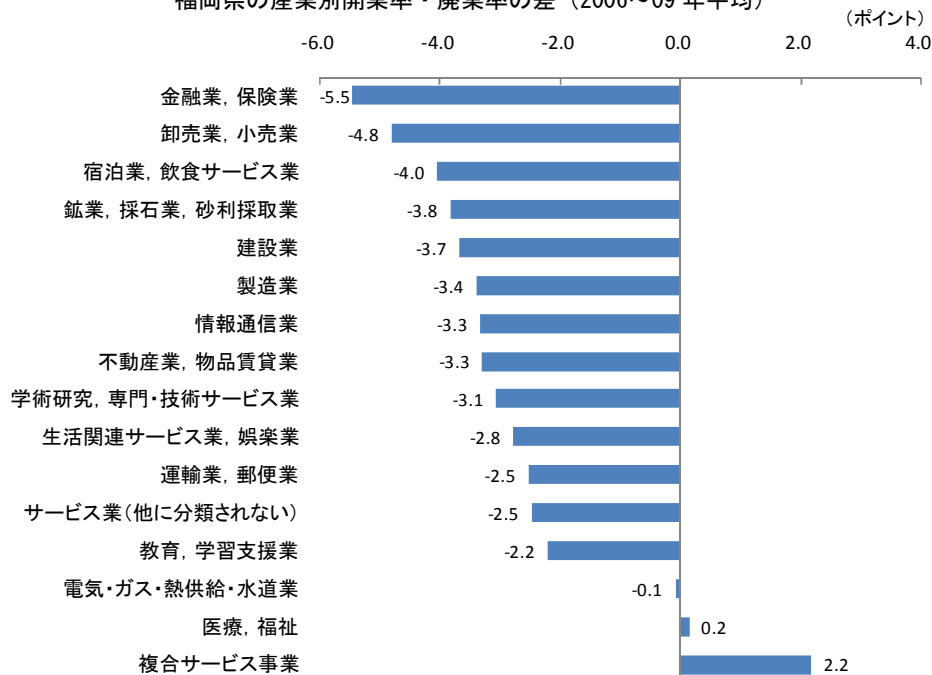
### 全国より高い福岡県の開業率、廃業率

2006～09年の福岡県の開業率は3.2%、廃業率は6.7%といずれも九州7県で最も高くなっている。産業別に開業率・廃業率の差をみると、金融業、保険業の減少率が最も大きくなっている。



注) 開業率、廃業率の算出は、中小企業庁「中小企業白書」での算出方法に準じている。  
 ・開業率＝「新設事業所を年平均にならした数」÷「期首において既に存在していた事業所数」  
 ・廃業率＝「廃業事業所を年平均にならした数」÷「期首において既に存在していた事業所数」  
 ・開業率算出に用いた期首事業所数：経済センサス基礎調査の存続事業所数と廃業事業所数の和  
 ・廃業率算出に用いた期首事業所数：2006年事業所・企業統計調査における事業所数  
 ・年平均にならすために用いた調査期間は、開業率：30カ月、廃業率：33カ月  
 資料) 総務省「経済センサス基礎調査」「事業所・企業統計調査」

福岡県の産業別開業率・廃業率の差 (2006～09年平均)



注) 1. 開業率－廃業率の差  
 2. 非農林漁業及び公務を除く民営事業所を対象  
 資料) 総務省「経済センサス基礎調査」「事業所・企業統計調査」

## 7. 外資系企業の進出

### 九州7県の7割を占める福岡県の外資系企業

福岡県に進出する外資系企業は全部で322件となっており、九州7県の7割以上を占めている。形態別にみると、8割以上が支店・営業所となっている。

九州7県の形態別外資系企業の進出状況（2011年9月時点）

		(単位:件、%)							
		福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	九州7県
件数	本社	29	1	3	2	0	1	2	38
	支店・営業所	270	2	11	33	14	9	25	364
	工場	15	2	2	5	3	4	5	36
	その他	18	3	3	3	0	6	1	34
	計	322	8	19	40	17	19	30	455
構成比	本社	9.0	12.5	15.8	5.0	0.0	5.3	6.7	8.4
	支店・営業所	83.9	25.0	57.9	82.5	82.4	47.4	83.3	80.0
	工場	4.7	25.0	10.5	12.5	17.6	21.1	16.7	7.9
	その他	5.6	37.5	15.8	7.5	0.0	31.6	3.3	7.5

注) 1. その他は物流センターや研修所など

2. 進出形態が複数ある場合もあり重複カウントしているため、構成比合計は100%にならない場合もある

資料) 九州経済調査協会「九州・山口の外資系企業2011」

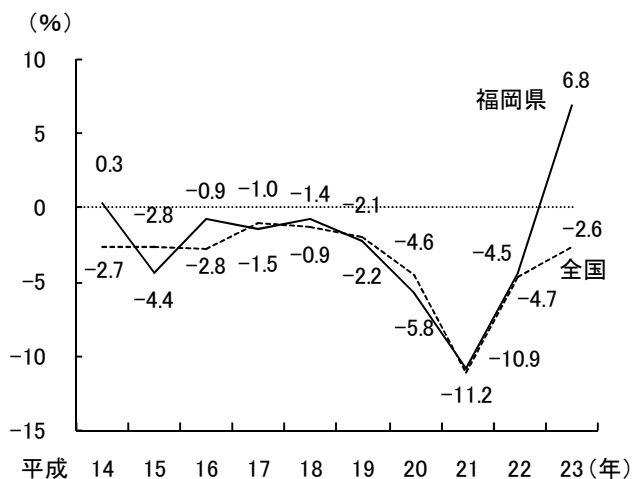
## 〈家計部門〉

## 8. 個人消費

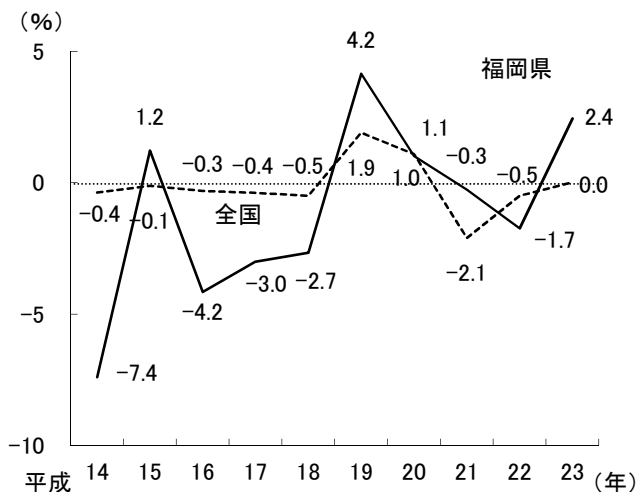
### 百貨店、スーパー販売額とも前年比大幅プラス

平成23年の福岡県の百貨店販売額は駅ビル開業に伴う新規出店により、前年比プラス6.8%となった。スーパー販売額は前年比プラス2.4%と全国を上回って増加している。

百貨店販売額の前年比の推移



スーパー販売額の前年比の推移

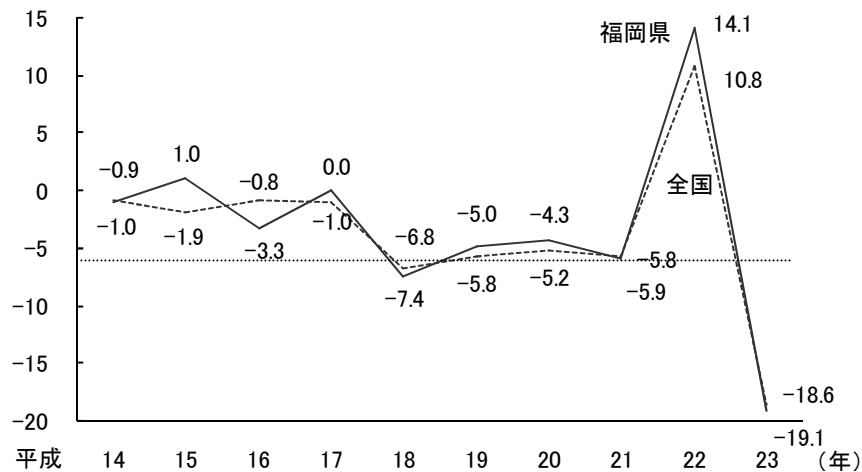


資料) 経済産業省「商業販売統計」

## エコカー補助金の反動や震災の影響から大幅に減少した新車登録台数

平成 23 年の福岡県の新車登録台数はエコカー購入補助金制度の反動などから、前年比 19.1% の大幅なマイナスとなった。

新車登録台数の前年比の推移



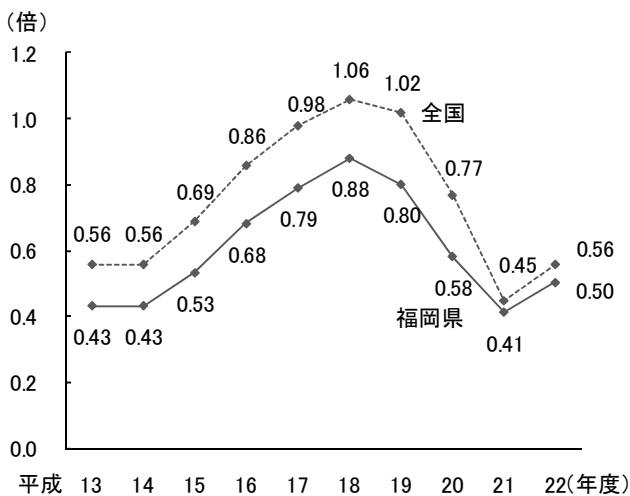
資料) 福岡県自動車販売店協会調べ

## 9. 雇用

### 回復に転じる雇用環境

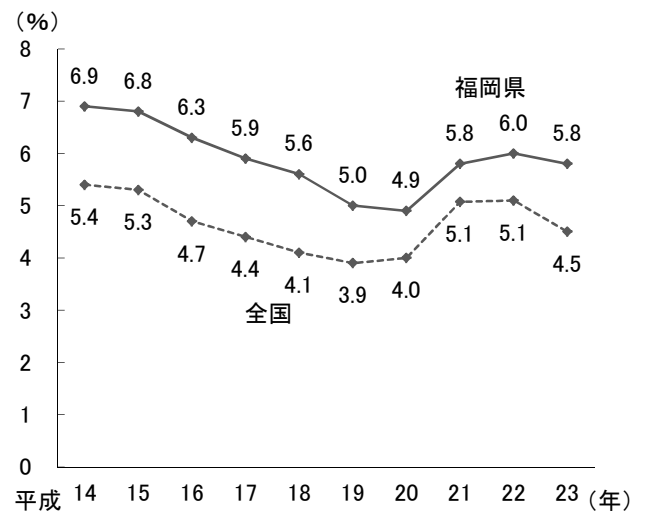
平成 22 年度の福岡県の有効求人倍率は 0.50 倍、また平成 23 年の福岡県の失業率は 5.8% となっている。

有効求人倍率の推移



資料) 福岡県「職業安定業務年報」

失業率の推移



注) 23 年は、通年で確認ができていないため、4 半期の数値から独自集計

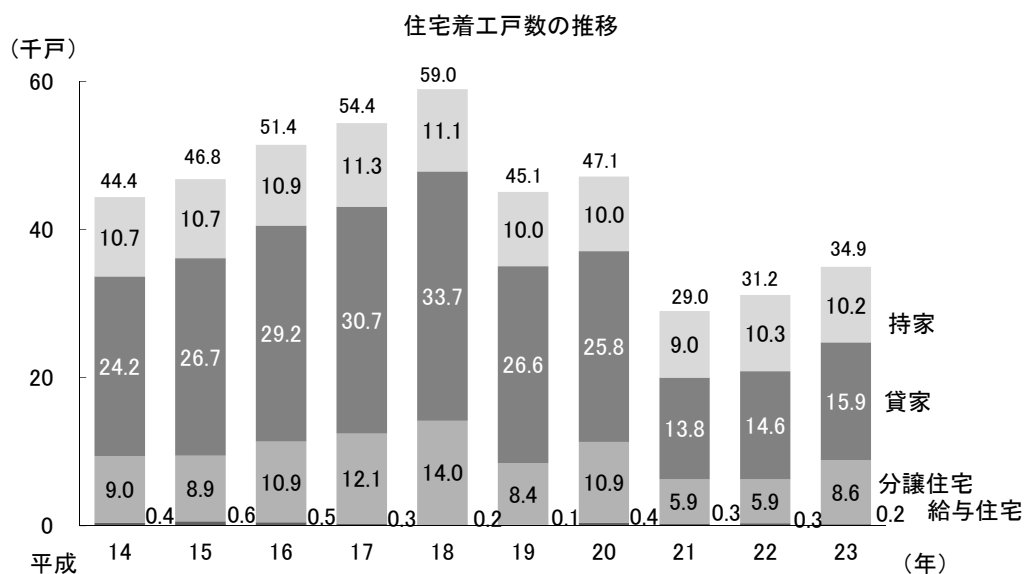
資料) 総務省「労働力調査」

## 〈その他関係指標〉

### 10. 住宅建設

#### 住宅着工戸数は2年連続で増加

平成23年の福岡県の住宅着工戸数は約3万5千戸となり、2年連続の増加となった。

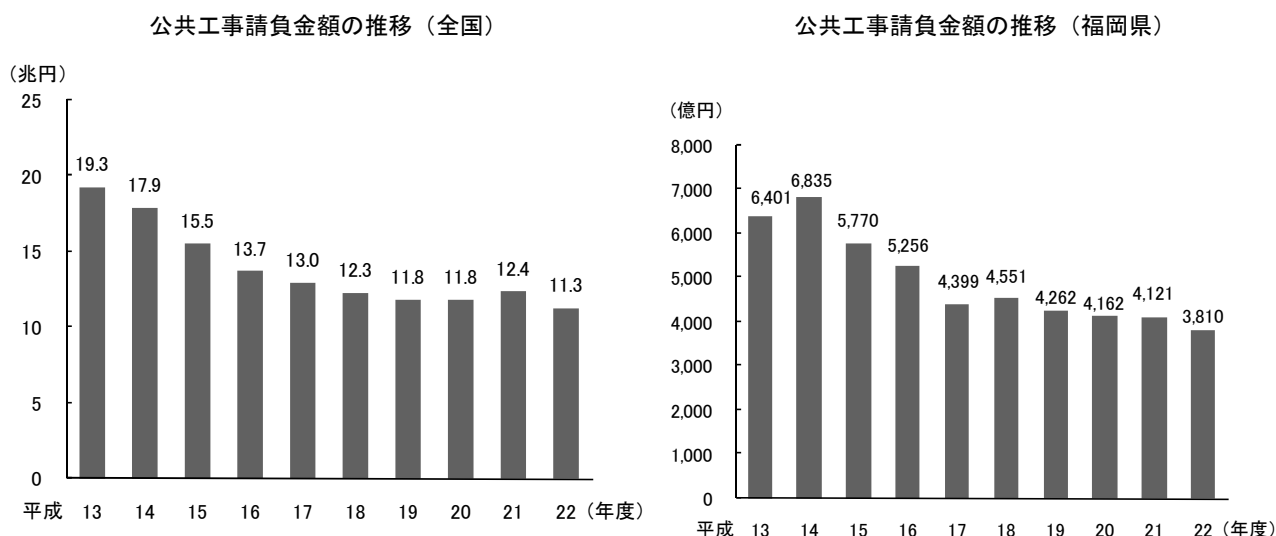


資料) 国土交通省「建築着工統計調査」

### 11. 公共投資

#### 減少傾向が続く公共投資

平成22年度の福岡県の公共工事請負金額は3,810億円となり、4年連続の減少となった。



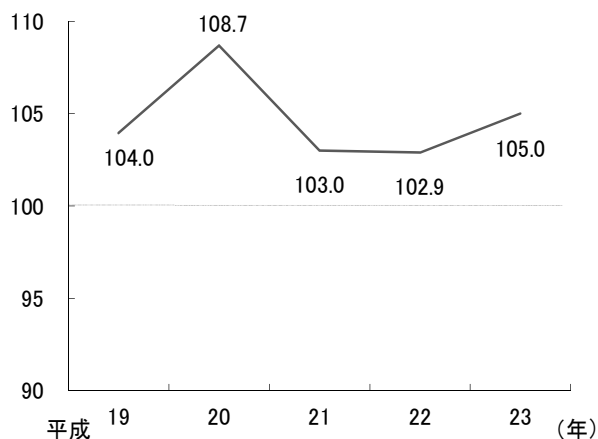
資料) 西日本建設業保証調べ

## 12. 物価

### 企業物価は上昇、消費者物価は低下

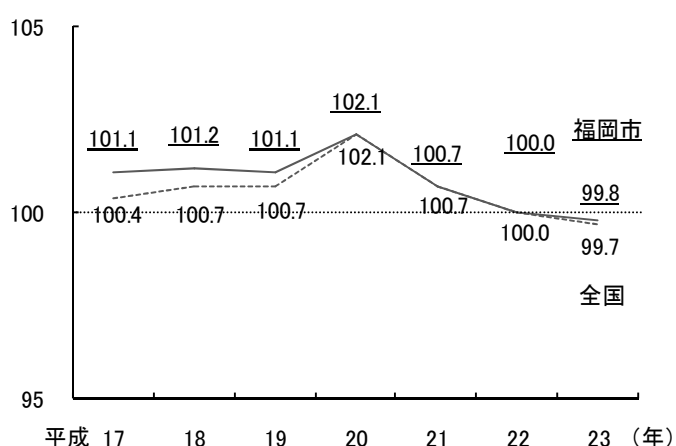
全国の企業物価指数は、平成23年は105.0と3年ぶりに上昇した。消費者物価指数は、平成23年は全国で99.7、福岡市は99.8と前年より低下し、デフレ傾向が顕著になっている。

国内企業物価指数の推移



注) 平成17年を100とする  
資料) 日本銀行「企業物価指数」

消費者物価指数の推移

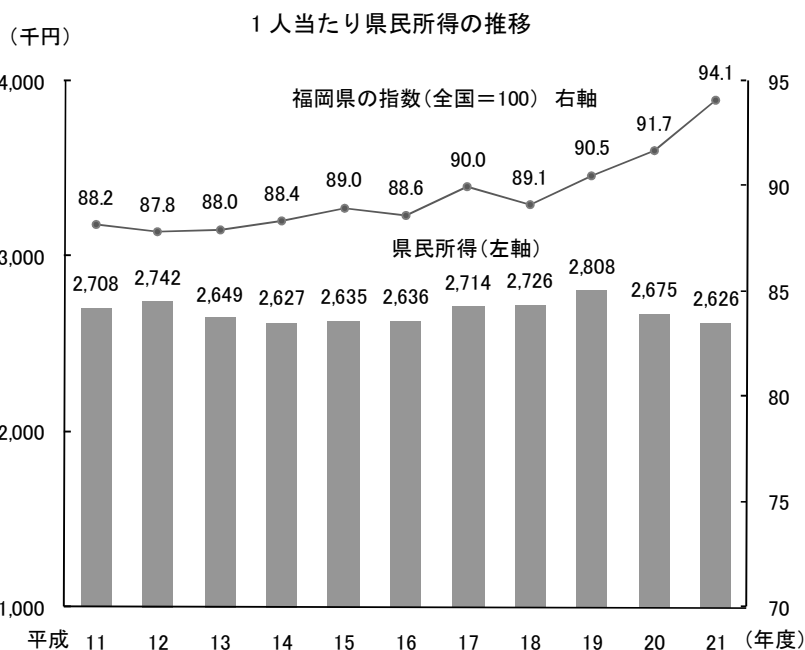


注) 平成22年を100とする  
資料) 総務省「消費者物価指数」

## 13. 県民所得

### 県民所得は2年連続で前年比マイナス

平成21年度の福岡県の1人当り県民所得は262.6万円、前年度に比べ4.9万円減少し、2年連続で前年度を下回ったが、全国との差は継続して縮小している。



資料) 福岡県「県民経済計算」